

## SUPPORT SOFTWARE

## M-Draf Facility™ WEB版 設備保全管理システム

設備装置 / 機器を常に健全な状態にし、設備の安全かつ安定運転の確保に寄与しつつ、コストダウンもはかるといふ課題を抱え、自動化、省力化が強気に推進されてきました。しかし、それによる弊害として、以下のような人的な問題が浮き彫りとなっています。

- 人員不足 … 工数不足での単純見落としが発生、ベテランの退職でノウハウ消失
- 無人化 … 異常時の対応の遅れ、予測外のことに対応が困難
- 外部委託 … 設備に対する責任意識の欠如、現在、これらの管理の必要性が問われています

システム化は進んでも、人は必ず関与しています。  
人の携わる保全を「M-Draf Facility」は強気にサポートします。

## 4つの基本的な管理で構成

## 作業管理

各設備の保全計画の週間スケジュール設定と作業結果の記録を行い、生産機器の安定稼働と点検のムダ、漏れを防止します。

## ドキュメント管理

設備に関する図面、点検マニュアル、仕様書など、設備の維持管理に必要な各種のドキュメントを管理。各種作業の効率化とライン停止時の迅速な対応を可能にします。

## 設備台帳管理

設備の仕様書などを登録し、台帳として管理、機能します。ISO9001 への対応と情報検索のスピードアップが実現できます。

## 予備品管理

予備品の使用状況を管理し、ムダな発注を抑制すると同時に、予備品のコストを比較検討し、VE (Value Engineering) を推進します。



## Web ブラウザ

Web 技術を利用した M-Draf Facility は、クライアントに特別なソフトウェアを使いませんので、Web ブラウザが利用できる PC があればどこでも利用でき、利用環境を制限しません。

## 自由度の高い操作性

保全作業担当者が日々の業務の中で利用できる簡単な操作と、お客様が日頃からお使いの台帳・報告書を簡単作成。スムーズなシステム移行が可能です。

## 画像検索

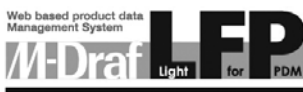
文字列での検索は勿論、日頃からなじみのある図面などの画像からの項目検索機能も用意されているため、誰もが使い易い操作性を提供し、全社利用を促進します。



# M-Draf LFP™ WEB板 技術情報管理システム

M-Draf LFPは2次元CAD製品の「M-Draf」シリーズの技術情報管理システムです。Web環境での構築が可能で場所・部門を選ばない管理がおこなえます。またCADとの相互性、既存システムとのデータ連携や、部品構成データを基軸に据えた情報管理方式で、もの作りにおける情報活用を支援します。

PDMに必要な最小限の機能をコアパッケージ化し、これをベースに個別モジュールを追加する事でユーザーニーズに応じた最適システムを低コストで実現します。



## BOM (Bill Of Material : 部品表) 主体の機能レイアウト

製品の構成を表わす品目構成情報を基軸に、そこからCAD図面データや技術文書等の関連のドキュメントが参照できるBOM主体のメニュー構造です。BOMとドキュメントは相互に関連が図れます。

## CADシステムとの運用連携が可能

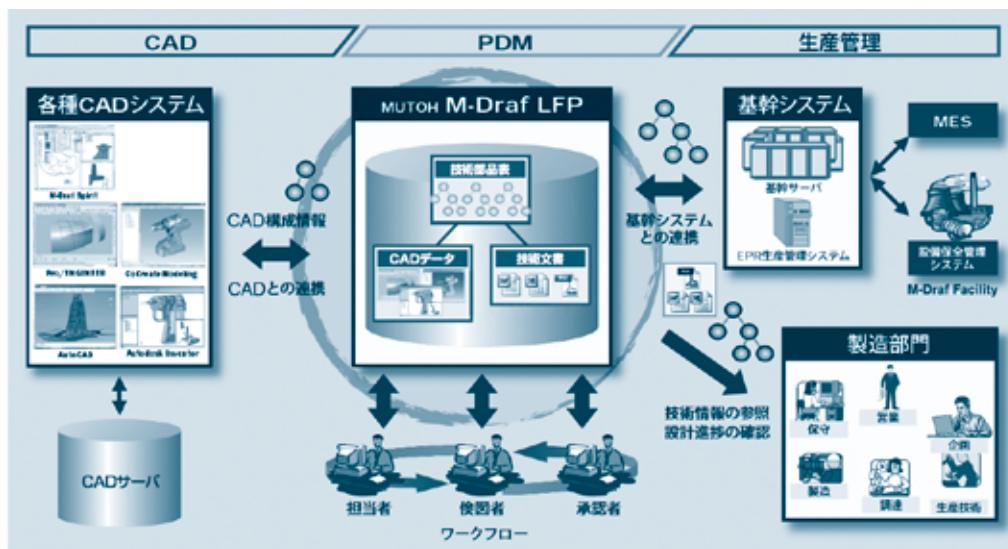
各種2次元、3次元CADシステムとの運用連携やCAD属性データ、構成データの部品表生成等の対応が可能です。

## 低コスト

基本機能をコンパクトにまとめコア・パッケージ化したことで、低価格化を実現。その上、Webサーバーアプリケーションのため、クライアントに専用ソフトが不要で、いつでもどこでも、場所・PCを選ばない運用がおこなえます。ユーザーライセンスフリーなので利用ユーザーも自由に設定可能。部門にまたがる相互活用をローコストで実現できます。

## モジュール構造

必要な機能がモジュール化されているので、ユーザーの用途に応じた機能追加や他システム（たとえば生産管理システム）との連携も容易です。これにより、開発・設計から生産管理まで一連のデータ連携システムの構築も低コストで実現でき、製品の品質向上、部品共通化によるコスト削減、設計から生産までの期間短縮など、物づくりに関する情報活用を強力に支援します。



# ProductionMaster™ 統合型 生産管理システム

DCS ProductionMaster は、受注から出荷まで工場の製造業務全般をカバーする統合型生産管理パッケージです。今までの Excel 管理から移行されるお客様でも“解りやすく”、“使いやすく”、“短期間で導入”でご利用いただける生産管理パッケージです。現在の工場の状況（基準値の精度）に合わせたステップバイステップの導入が可能となっております。

## ステップアップしながら導入できる

在庫や基準値の精度が整ってなくても、まず仕組みを整えてから、在庫や基準値の精度をあげていくことにより、ステップバイステップで生産管理としての完成度を高めていくことができます。

## PDCA を忠実に実行可能

PDCA 管理サイクルがキチンとできて、Check-Action がリアルタイムにできることが、迅速な対応や業務改善による生産性の向上に結びつきます。

## 現場の状況や異常を的確に把握

受注状況、出荷状況、現場の負荷状況による生産計画の実行可否、部材の納入状況、製造現場の進捗状況などの現場の状況や、欠品アラーム、進捗遅れアラーム、MRPアラームといった異常通知で、現場の状況や異常がわかる仕組みになっています。

## 経営判断をサポート

経営判断に必要な KPI 指標や月次統計資料を、グラフで見たり、ダウンロードして解析できるようになっています。迅速なデシジョンメイキングをサポートします。

## 海外工場にも強い

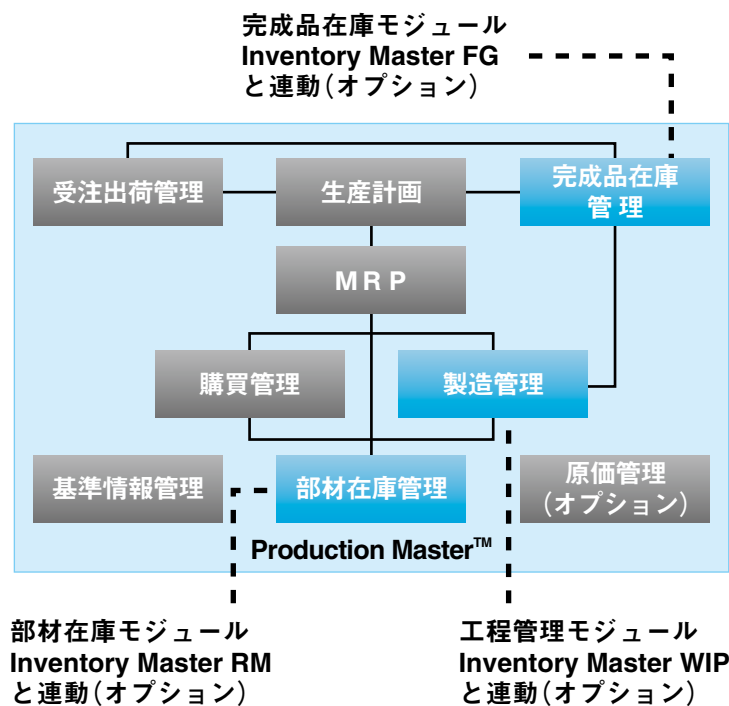
画面、帳票のマルチ言語対応、輸出製品用の保税部品対応をしています。海外拠点においても、強力なサポート体制を敷いています。

## インターネットに対応

Web システムなのでクライアント PC にソフトをインストールする必要がありません。異なる拠点間でもインターネット経由で、接続することができます。

## 使いやすさへのこだわり

データベースに独自の項目を増やしたり、画面の単語の見出しを自社の呼び方に変えることが簡単にできます。グラフを表示したり、計画を表イメージで入力するとした従来の Web では難しかったことを実現しています。



# InventoryMaster™ 加工系&組立て系製造会社向け 在庫管理システム

InventoryMaster は、2次元コード、RFID などを用いた自動認識技術による在庫管理システムで、属人的な間違い・ミス無くし、リアルタイムかつ精度向上した在庫管理、工程進捗、ワークフローを現場支援システムとして提供します。

## InventoryMaster の自動認識技術による在庫管理システム

### InventoryMaster で提供する現場支援システム

部材在庫モジュール (RM)  
 工程管理モジュール (WIP)  
 完成品在庫モジュール (FG)

### 様々な業務プロセスをサポート

入荷、棚入れ、ピッキング、パレット組み、払い出し、出荷、  
 返品、廃棄、ロケーション変更、在庫ステータス変更、  
 棚卸し、在庫調整

### 導入効果

在庫精度の向上：正確でリアルタイムなデータ収集による適正在庫水準の維持が可能。総資産収益性 (ROA) の向上に直結

業務効率の向上：自動認識技術の活用により、人的ミス無くし、紙ベースの作業も削減

業務精度の向上：ピッキング、払い出し、出荷等の業務プロセスにおいてバーコード検証による精度向上

業務の可視化向上：正確な在庫&製造関連データの収集により生産性、歩留り率等の KPI (KeyPerformanceIndicator) 分析が可能

トレーサビリティの実現：3種類のモジュール間の在庫データを統合することで、完成品～工程履歴～部材のトレーサビリティを実現

## InventoryMaster の利点

### ● 必要なモジュールからの導入が可能

RM (Raw Material)：部材モジュール  
 WIP (Work-In-Process)：工程モジュール  
 FG (Finished Goods)：完成品モジュール  
 DW (DataWarehouse)：データウェアハウスモジュール

### ● ロット番号 (or 製品番号) をベースにした在庫 & 製造管理

### ● 上位システム (ERP、生産管理システム) を補完

### ● パッケージシステムとしての導入利点

短期の開発 & 導入期間  
 低額の導入費用  
 確実な動作性  
 多言語サポート (英語、日本語、中国語 & タイ語)  
 自動認識技術 (2Dコード、RFID など) の活用  
 部材～生産履歴～完成品の一貫したトレーサビリティ

### ● DCS グループの現場支援システム導入実績数は 600 社以上

